

令和4年度 第1回府中町総合教育会議 議事録（要旨）

日 時：令和4年10月25日（火） 15時30分～17時05分

場 所：くすのきプラザ 1階 ギャラリー

出席者：町長 佐藤 信治、教育長 新田 憲章、教育委員 上之園 公子、
教育委員 神原 謙治、教育委員 松本 真奈美、教育委員 玉井 節夫

○開 会

○協議事項

- （１）教育振興基本計画の進捗について
- （２）府中公民館及び歴史民俗資料館のリニューアルの成果について
- （３）その他
 - ・中高連携について
 - ・コミュニティスクール及び地域学校協働活動について

○議事内容

- （１） 教育振興基本計画の進捗について 《資料１》

- 資料１に沿って教育長より説明
- 町長意見
 - ・ 第２次府中町教育振興基本計画は、令和２年度から令和７年度までだが、目標値は令和７年度に到達する目標なのか、毎年度到達する目標なのか。
 - 目標の設定について、③・④の「全国学力・学習状況調査の教科に関する調査の結果」は、小学校が県平均の＋５ポイント、中学校が＋３ポイントとし、少し高い目標ではあるが、常に県平均を上回っていくことを前提としている。達成するためには、日頃の授業を着実に行うことが必要となる。⑤・⑥の「全国学力・学習状況調査の正答率３０％未満の児童生徒の割合」は、令和７年度に小学校では２％以内、中学校では４％以内としている。この目標値は、県平均と比較すると非常に高い目標値となっているが、目標を達成するために日々の努力を積み重ねていく。また、⑤・⑥の割合については、毎年度目標値を上げていくが、達成するためには、正答率３０％未満の子供たちに常に目を向け、授業改善を続けていく教職員の努力が必要である。
 - ・ コロナ禍でさまざまな困難もあり、総合評価に低いものが多くなったのではないかと思います。しかし、目標が達成できなかった場合には、目標を達成するための具体的な改善方法が必要。考え方を教えてほしい。
 - 大きな目標を持ち、学校間を超えて取組みを進めていこうという教職員の授業改善に向けた協働の体制が、目標値に到達するパワーになっていくと教育委員会では考えている。
- 教育委員意見
 - ・ 昨年度は、学習用情報端末（タブレット端末）について、コロナ禍以降を見据えた取組みを積極的に進めてきた。一般的に、全国学力・学習状況調査の結果が良い学校は、あま

りデジタル化が進んでいないということがよくあるが、府中町は結果が県平均以上でも、先を見通して、変革することにチャレンジしていく方針でデジタル化に取り組んでいる。昨年度は、まず授業の中でデジタル化に取り組んでみようということで試行錯誤しながら取り組んだ。今年度は、昨年度の取組みの成果もあり、タブレット端末が文房具として子供たちの中に定着している。例えば、府中東小学校3年生の「府中町をもっとアピールしよう」という授業では、情報収集は子供たち自身がタブレットを使って行っていたが、地域の方にお知らせするためのパンフレットは手書きで手作りするといった具合に、自分たちで考え、判断していた。このように、それぞれのメリット・デメリットを認識し、活用できる段階まで来ている。今後、コロナ禍が落ち着き、デジタル化が停滞・後退することも危惧しているが、府中町の学校は、子供たちが主体的に体験する授業など、デジタル化の先を見据えて取り組んでいる。特に見本となるのは、府中中学校区と府中緑ヶ丘中学校区の小学校と中学校の2グループで、それぞれが研究し、その研究を他の中学校区にも公開している。7校全体で研究を共有し、企画・修正しながら、高いレベルを目指し、教職員が取り組んでいる。デジタル化により子供たちが主体的に探究する力の向上が期待できるのではないかと思う。

- ・ 資料1の8ページ～9ページ「志を持ち未来へ挑戦する児童生徒の育成」の総合評価がDとなっはいるが、これは府中町教育委員会が設定した目標値に対する評価であり、県平均と比べると、府中町の学力レベルは県内でも高いと思う。⑤・⑥の「全国学力・学習状況調査の正答率30%未満の児童生徒の割合」を見ても、県平均より低くなっており、これは先生方の努力の賜物。子供たちは、「できた」「分かった」というところから自信を持っていく。それが、①・②の「将来の夢や目標はかなうと思う」につながっていき、「志を持ち未来へ挑戦する児童生徒の育成」につながっていくものと思っている。ただし、目標達成のため、これからも努力していく必要はある。
- ・ コロナ禍で学校行事ができていないのが現実だが、経験上、学校行事を通して子供たちは成長していく。子供によっては大きく成長することもあり、学校としては行事を行いたいというのが願い。昨年まではコロナ禍で中止していた行事が、今年は開催されるものもあると聞いており、学校行事を開催してあげたいという先生たちの思いが達成できたのではないかと思う。これらが「将来の夢や目標はかなうと思う」というところにもつながっていき、子供たちも日々、志を持って取り組んでいけると思う。

(2) 府中公民館及び歴史民俗資料館のリニューアルの成果について 《資料2》

- 資料2に沿って教育長より説明
- 町長意見
- ・ 府中公民館の入館者見込がマイナスとなっているのは、コロナ禍の影響か。
 - 4月の開館以降、1階からの入館者数をカウントし、毎月統計を取っている。令和4年度の入館者目標と実績見込の差については、コロナ禍だけが原因ではない。目標設定時の内容を確認し、目標値に見合う活動方法、運営方法を再検討して、目標を達成できるよう運営していく。
- ・ 2階からの入館者数はカウントができないということは、実際の入館者数は把握できていないということ。カウンター設置費用は高額なのか。

- 本来であれば開館時に設置すべきであったが、予算の関係で 1 階のみの設置となっている。2 階のカウンター設置費用は、100 万～200 万円程度を見込んでいる。自動扉の所に設置できるかなど構造的な面も確認が必要だが、正確な来館者数を把握するために設置したいと考えている。
- ・ 以前の公民館（平成 29 年度実績時）はカウンターがあったのか。
- 平成 29 年度実績は、実際の活動者数と図書室の利用者数となっている。
- ・ 新しい施設を作るにあたっては、その成果を評価できるようにしておく必要がある。投資に対して効果がなければ、何かを考えていかなければならない。そのためにも、基礎数値である入館者数の把握は重要。それを把握した上で、どのように公民館としての役割を果たすのか、具体的に示してもらいたい。
- ・ 府中公民館改築に合わせ使用料を改定した。従前に比べ使用料が高くなり、2 年間の経過措置を設けたが、町民からの意見などあれば教えてほしい。
- 苦情ではないが、「少し高くなったね」との意見はいただいている。改築の目的と使用料の算定についてご理解いただけるよう、職員も丁寧な説明をしながら徴収している。冷暖房費については、利用者が使用したいタイミングで使用しやすくなったこともあり、使用料の改定についてもご理解いただけており、問題ない。冷暖房使用料の収入についても、平成 29 年度決算よりも増加するものと見込んでいる。来年度には経過措置が終わるので、引き続き丁寧な説明をしていき、利用者増に向け、具体的な取組みを考えながら運営していく。
- ・ 来年の電気料金が高くなる可能性があるので、財務部門と相談しながら、今から検討を進めてほしい。

（３） その他

○中高連携について

- 教育長より説明 動画視聴「英語検定に係る模擬面接」「英語による原爆の子紙芝居」
- 町長意見
 - ・ 安芸府中高等学校には、国際科というクラスもあり、町内の小中学校にも好影響を与てもらえるとありがたい。そして、安芸府中高校にも良い効果が出ればと思っている。それが、具現化されつつあるのは嬉しく思う。
- 教育長意見
 - ・ 中高連携については、昨年の総合教育会議で町長からご意見いただき、それを具現化したもの。
- 教育委員意見
 - ・ 活動自体にも共感できる点が多く、ぜひ続けていただきたい活動。

○コミュニティスクール及び地域学校協働活動について ≪資料３≫

- 資料３に沿って教育長より説明
- 教育委員意見
 - ・ 府中小学校の「府小っ子応援団」の活動は校内清掃など多岐に渡るが、大きな特色として、図書ボランティアがある。平成 31 年から活動しており、まずは図書に触れる機会を

増やしたいという校長先生の意向のもと、フリースペースに本を置くこととし、保護者が集まり、使用していない教室の棚などを再利用するなど本棚を作ることから始めた。現在は、2つの図書館と7つの図書コーナーを設けており、図書に触れる機会が増えている。活動開始当初は、費用面などPTAの賛同もなかなか得られなかったが、保護者の方も実際に学校を見ていく中で、先生の本気度を感じ、協力的になっていった。子供が興味を持ち、本に触れるきっかけを作っていくよう活動した成果として、博報賞を受賞することができ、この活動が定着してきたものと思っている。また、府中小学校が府中町婦人会の協力を得て実施している、児童に朝ごはんを提供する活動（府小っ子モーニングビュッフェ）について、全国の教育委員との会議の場で報告した際に、大変驚かれ、賞賛された。

- ・ 府中南小学校では、グリーンサポーターとして、庭木の剪定や花壇の手入れの活動をしている。しゃべり場では、家庭教育支援チーム「くすのき」の力を借りて、保護者と地域サポーターが集まり、手芸や工作をしながら子育てなどの相談ができる場を設けており、保護者からは非常に好評を得ている。また、校内の学級文庫をすべて管理・修理し、2か月毎に学級文庫を隣のクラスに移動し、1年間でたくさんの本に触れる機会を持たせている。新たな取り組みとしては、今年度から緑ヶ丘中学校・府中中央小学校・府中南小学校の3校で合同の事務局会議を行い、情報交換等をしている。府中南小学校は良い方向で取り組みが進んでいると思う。

● 教育長意見

- ・ 府中町のコミュニティスクールの取り組みは県内でも先進的な取り組みとして評価されている。府中南小学校のしゃべり場などの取り組みは、家庭教育支援の役割も担っており、全国的にも注目されている。

○閉会